

授業概要

スポーツの普及や競技力の向上においてスポーツ指導者の存在は不可欠である。そこで日本のスポーツ界の現状と目指すべき方向性を正しく理解し「スポーツ科学」や「一環指導システム」などスポーツ指導を实践する上で、基本となるプレイヤーの自発性や積極性を導き出すための知識と技能について講義する。

授業計画

第1回	ガイダンス（担当教員の紹介、授業概要、進め方、学習方法、到達目標、成績評価方法等）
第2回	スポーツ指導者とは
第3回	発育発達とスポーツ指導
第4回	スポーツ指導者の倫理
第5回	指導者の心構え・視点
第6回	プレイヤーと指導者の望ましい関係
第7回	ミーティングの方法
第8回	指導計画の立て方
第9回	スポーツ活動と安全管理
第10回	世界の舞台を目指すアスリートの発掘・育成の重要性と指導者の役割
第11回	トップアスリートを育成するために
第12回	競技力向上のためのチームマネジメント
第13回	競技力向上のための情報とその活用
第14回	スポーツ指導におけるアンチドーピング
第15回	まとめ・振り返り
第16回	期末試験

到達目標

- 1) 発育発達を考慮したスポーツ指導について説明できる。
- 2) スポーツ指導者が持つべき倫理観について説明できる。
- 3) コーチングの具体的な方法や技能について説明できる。
- 4) 一環指導システムについて説明できる。
- 5) 競技力向上のための施策について説明できる。

履修上の注意

授業だけではなく、予習・復習についてもしっかりと取り組むこと。特に予習となる授業テーマに関するニュースや話題について情報を集めるために、日常的に新聞やニュース等の記事に関心を持つように心がけること。

予習復習

予習：授業テーマに関するニュースや話題について情報を集めておくこと。
 復習：授業資料をもとに専門用語等を覚えておくこと。

評価方法

出席が3分の2に満たないものは成績評価の対象から外れる。成績評価は、授業内小レポート50%、期末試験50%とし、授業態度等により総合的に評価する。

テキスト

テキストは指定しない。授業毎にテーマに沿った授業資料を配布する。